

地域情報誌
2015年8月
(No22)



〈編集・発行〉生きがいのある須金をつくる会

今年も なしぶどう祭りが開催されます！



(今年も盛大に開催予定です)



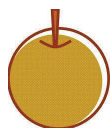
(毎年、須金らしいイベントが盛りだくさん)

今回の祭りは新しいイベントが目白押し！！

なんと須金ぶどう梨組合誕生40周年を記念してワインSHUGANEで乾杯します。そして、スペシャルゲストに、シンガーソングライターのMIKKOさん！さらに、農園ゴスペル！須金の歌ウマ農家さんたちが集まり、ゴスペルを披露してくれます。美しい歌声とワインで、今年の梨ブドウ祭りは行くしかない！

開催は、8月29日（土）、午後5時より。会場となる須磨小学校で、皆様のお越しを、心よりお待ちしております！

(文/福田陽一)



須金ぶどう梨生産組合 おかげさまで40周年！



ここ須金に、梨とぶどうの産地ができて、今年で40周年です。

これまで、お客様や地域の方、関係機関の皆様に支えていただき、本当にありがとうございます。おかげさまで、40年を迎えることができました。当時を知らない新規就農者や後継者が、新しく園主としてがんばっています。もちろん、40年前から現役で頑張っている園主も、元気いっぱいです。そんな組合の農園は、これからもおいしい梨とぶどうを作り続けて、皆様のご期待に沿えるよう頑張っています。

どうぞ、これからも、ご支援をよろしくお願いします。

(須金ぶどう梨生産組合同より)

戦後70年特別企画～須金の里山で語り継ぐ戦争の記憶～

人物紹介

福田 政夫 さん

(峰畑/昭和3年2月13日生まれ)



(お元気な福田さん 峰畑の畑の前で)

Q1. これまでの経歴を教えてください。

16歳で広島県の大竹海軍兵学校に志願して行きました。それから3ヶ月の訓練を受けて、大分県佐伯の海兵隊へ配属されました。下関で機雷の撤去などを行う掃海艇での作業に従事している時に、終戦を迎えました。

その後、関門海峡の機雷撤去作業を1年間行い、須金に戻ってきました。18歳で須金に戻ってからは、70年間百姓です。

Q2. 戦争体験で記憶に残っていることはなんですか？

機雷の撤去作業中に、近くの船が機雷に当たり、真っ二つになったのを覚えています。また、グラマン戦闘機に爆撃されて仲間をなくした事もあります。戦争ほど、ばからしいことはない。その労力をもっと別の事に使えば、世の中は良くなると思います。お国のためと木の棒で尻を叩かれながら教育を受けてきたが、当時はそれを疑うこともなく従っていました。教育というものは本当に恐ろしい。それは、現代の教育にも当てはまると思うので、指導者はよく考えなければならない。

Q3. 18歳で須金に戻られたそうですが、その頃の様子はどうでしたか？

食料が不足していて、米は病気になった時にしか食べられなかった。普段は麦、そば、さつまいもなどを食べていた。遊ぶ事もなかった。ただ、炭や薪、畑を作るなど仕事はあったし、戦争が終わって若い人も須金に帰ってきて、家庭を持つなど人が増えて活気はありました。

Q4. みんなに伝えていきたいことは何ですか？

自分は厳しい環境の中で育っているので、今の若い人たちは頭が良くても根性が無いと感じることはある。戦時中の教育が良いとは言わないが、自分に影響を与えていると感じる。私は、須金に帰ってからはずっと農業をしていますが、命を繋ぐ産業と思い、プロ意識を持ってやっています。須々万の農協にも作物を卸していますが、味が違うから消費者にも届いて、品物は必ず売り切れます。

須金には空襲などの直接的な被害は無かったようですが、物資の不足や徴兵・志願による若者の流出など大きな影響があったようです。今回取材をするにあたり戦争体験を語れる方が減ってきていることを実感しました。皆さんも周りの戦争経験者にお話を伺ってみてはいかがでしょうか。

(インタビュー/三牧清隆)



須金 × 明治大学



須金地区では、昨年度から明治大学と連携して地域のさまざまな問題について、検討を進めています。今回は、6月6日から8日まで、生徒11名講師3名が須金を訪れ、調査を行いました。

今後、各学生が研究課題を決めて、更なる調査に訪れます。「鳥獣害問題」「生活交通問題」などこれからの調査・研究によって、須金地域の問題解決と活性化が進むことが期待されます。調査によっては皆さんに協力をお願いすることもありますので、よろしくお願いいたします。

(文/三牧 清隆)



(里の案内人から聞き取り調査)



(農家レストラン Bambooで昼食)



(集落訪問、地域の状況・生活環境について意見交換)



(地域のプール清掃に参加)

須金地区主な行事予定

8月

- 8月10日（月）コミュニティ理事会
- 8月14日（金）物故者追悼・盆踊り大会
19:00～
- 8月25日（火）産業観光ツアー
13:30～（和紙センター）
- 8月26日（水）やまびこ号
- 8月29日（土）須金なし・ぶどう祭り
17:00～

9月

- 9月1日（火）小学校始業式
- 9月3日（木）小学校地域参観日
- 9月6日（日）敬老会
- 9月7日（月）コミュニティ理事会
- 9月25日（金）やまびこ号
- 9月28日（月）大津島秋季交流会

DEすがね 掲示板

◎空き家情報をお寄せください！

周南市では、空き家の有効活用と定住促進による地域活性化、住替えによる住環境の改善を図ることを目的として、空き家情報バンクを開設しています。須金地区からも空き家情報を積極的に発信していきたいと考えています。

空き家を貸したい方・売りたい方、またはその様な方をご存知の方は公民館までお知らせください。

◎支所では原爆投下日及び終戦日にサイレンの吹鳴を行うのでご注意ください。

- 8月6日(木) 午前8時15分から1分間
- 8月9日(日) 午前11時2分から1分間
- 8月15日(土) 正午から1分間

※DE すがね無料メール配信

メールでもこの情報誌は読めます！申し込み方法はdesugane@gmail.comへ配信希望と書いたメールをするだけ。励ましや感想もこのメールアドレスで受け付けています。

須金で育って、いま全国でがんばっている皆さんの元へ届けましょう！



特別連載 須金歴史探訪

さいの神、道祖神

文 高橋 勝己

桧山の山本農園前にある「さいの神」。須金には、ここ以外に北山の中畑とよし谷の楠木の峠にありました。

むかし、須万村に三人兄弟がおり、それぞれの地で開拓に従事していた時に、万が一、兄弟に何かあった時には烽火をあげて、ほかの二人に急を告げた所と言われていました。また道祖神とも呼ばれたこの神は、村境に祀られ、悪霊の侵入をさえぎる神であり、旅の神、縁結びの神、子供の守護神、産の神の性格を持っていました。

いずれの場所も神木が植えられ、わらじや藁馬など、旅にまつわる物、男女の人形や性器を型取った野菜（大根）などが、お供えされていたそうです。おもしろいですねえ。



(写真：桧山のさいの神)

編集後記

今回の人物紹介で取材した福田政夫さんの野菜は、本当においしいと聞きました。皆さんはご存知でしたか？僕も須々万のJAに買いに行きたいと思います。これからも須金の元気なお年寄りのお話をたくさん聞いてきます！！

(三牧 清隆)